ひらつか

（平塚市広報紙）
発行所・平塚市役所
編集総務課
TEL・1261～70

臨時号　価30円
24,200部・新聞折込み

財政健全化への見とおしつく

第18回 財政事情から

収入順調の波にのる

赤字解消 1—2年後に

昨年度の下半期と、ことし三十二年度の予算にみる、市の収支とまかないが、どうなったかを報告する、第十八回財政事情を発表しました。

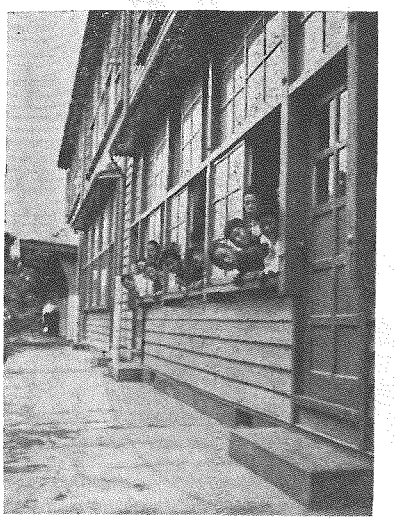
よくしられているように、去る昭和二十八年度、平塚市が赤字団体のなかまいりをしてから日まで、健全財政へのたちなおりのために、々支出をおさえ、収入はかるゞという財政方針にたって、支出の圧縮をつづけてきました。最近ようやくこの努力がみのりをみせ、三十一年度決算の結果では赤字をおゝはばにへらせるみとおしがもてるようになりました。

財政のうごきをおゝすかみことらえてみますと、収入の五割以上を占める市税は、最近、納税成績もあがり、そのほかの収入も、ほとんど予算どおりはいるようになっています。

この収入順調の波にあわせ、支出面での合理化もすゝみました。まず、昨年度のはじめにおこなった行政機構の手なおしと、人員整理によって、人件費の節約が実現しています。

さらに、消極的な物件費をけずり、不用不急の建設事業をおさえるなど一連の再建計画によって、市の財政運営の見とおしは、しだいに明るいものとなっています。

三十一年度の財政状況を検討しますとき、本市の赤字も、この年度をさかいとして、これから一、二年後には、完全にかたずけるみとおしがもてるのであります。



分校から新校舎へ（富士見小で）

31年度下半期収支

合併で予算拡大

税収四、四九〇万円ふえる

昭和三十一年度下半期（昨年九月から今年の三月まで）は、十一月と年度末（三月の二回に、合計八、四一七万円の追加更正を行い、結局三十一年度の最終予算は、五億円を大きく上まわる、五八、二九〇万円に拡大しました。

このおゝはばな増額は、昨年九月大野など周辺六カ町村の編入合併にともなって必要となったもので、旧町村からの引つぎ事業や、合併と同時にうちだした、あたらしい建設計画、あるいは新職員費や、大量の希望退職者に関した経費、さらに急を要した富士見小、花水小の分教解消などがあらましを占め、市制二十五周年記念事業なども、いちまいくわわった結果でした。

手元財源となった歳入予算では、

① 市税収入が、四、四九一万円も多く見こまれました。これは、合併地域からあたらしくはいることになった市税の収入増がくみこまれたもので、追加財源のはんぶん以上を占めました。

② つぎに高額を占めた財源は繰入金の一、九三三万円であります。特別会計競輪競艇事業益金からの繰入で、七一三万円が見込まれました。これに加え、合併した旧町村から二四七万円、県給合基金九四万円の引つぎ金がはいりました。

③ 市債（国庫又は金融機関からの借入れ）は、一、一〇〇万円を追加しました。

道路整備事業に　四一〇万円
学校整備事業に　六八〇万円

④ 国庫支出金と県支出金が、あわせて一、三三三万円も多く入る予算がくめました。いずれも負担金と補助金の交付が多まった結果、予算化されたものです。

合併に伴って増額をみた地方交付税（国庫から市に助成されるお金）は、五一二万円の追加となってあらわれています。

⑤ 使用料と手数料の追加額は、三一一万円を数えました。

住宅、競輪場、魚市場の使用料や、幼稚園保育料などです。

⑥ その他、財産収入七九万円、諸附金七万円、雑収入九六万円でした。

以上の財源増加とにらみあわせながら、つぎの歳出追加更正予算がくまれたのであります。

① 追加額の筆頭は、教育費の三、七八八万円です。

岡崎・浜沢・土原小の新営改築に　一、三九四　万円
大野中央体操場新設に　一、四三八　万円
富士見・花水小校舎新設と旭小の給食場新設に追加　八八　万円

などがめだち、そのほか、小・中学校や社会教育のまかない費が多くなっています。

② 追加額の二位は、役所費の二、三七九万円、このうちとくに人件費が職員二三六人をかゝえてふくらみ

職員費　一、六三一　万円
退職者支払い関係に　七二一　万円

③ 諸支出金には一、三九〇万円が追増されました。

合併町村の借入金の返済に　六四三　万円
市制二十五周年記念事業に　二五一　万円
特別会計国保事業のまかないたすけるため繰出一九〇　万円
徴税費　二一九　万円

が主体になっています。

④ 庫業諸費に対する四七六万円の追増額は、周辺農業地域をかゝえた農業関係の費用が多く、増員の農業委員会の経費に　一〇七　万円が追増されました。

⑤ その他社会福祉関係では、金田に保育所の新設　一五五万円がめあてらゝ、総額三一七万円の増額

消防費の二一〇万円の増分は新団員一八一人の団服、火の見やぐら、消防井戸の新設などにつかわれました。

保健衛生費では、患者輸送と防疫専用車を七六万円で買って、計で、一九一万円の増

ほかに、公債費（起債の返済金）七五万円・選挙費五三万円・職員費　一三八万円・財産費　二九万円・国有財産関係費　四万円

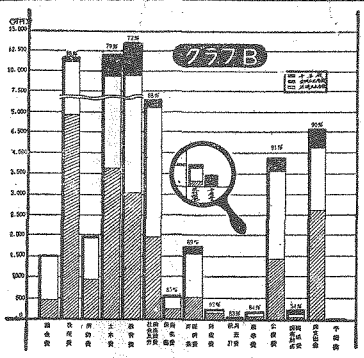
などの増額がみられました。

⑥ 土木費は更正予算の結果、道に七八六万円の減額をまねきました。原因は二月の最終更正で、国鉄との関係から本年度分を予定した、地内道新設工事費新財、一、四七〇万円をそっくりとりやめにしたのと、失業対策事業に四八〇万円の不用額が生じたためであります。しかしこの反面、今期間に道路整備費におゝはばの増額が行われています。

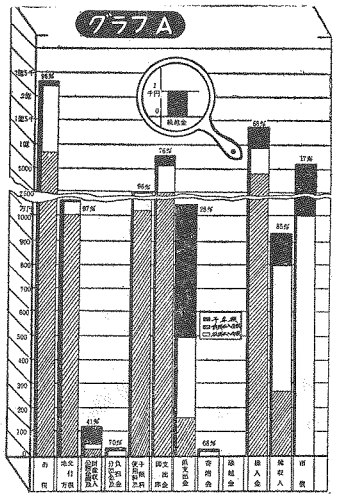
八幡線中線、大神小稲葉線、人増小幡線、水利実験所道路等の新設改良に　九〇〇　万円
大野地区県道張工事負担金に　一〇〇　万円
河川費に　五六　〃
広域都市計画設定に　一〇〇　〃

が追増されています。

31年度支出状況



31年度収入状況



三十一年度通算

計画事業の実施すゝむ

決算じり黒字のみこみ

総額で五億円を八、〇〇〇万以上もとった、三十一年度の予算の実際の収支状況は、年度末の三月三十一日までに、歳入予算の七七%に達する四四、五八三万余円を収入しましたが、これに対し、歳出予算面では、四九、六一八万円を上まわる九五%の支出をおえ、差引き、四、七三万余円の支出超過をまねきました。

この支出オーバーが、そのまゝ昨年度の赤字といわけではありません。

収入が支出額に対して四七〇、況を、グラフBは、歳出予算額と〇万円もふい原因は、特別な事業への補助金や報償、あるいは特定財源の収入がおくれていることと、市税に一部滞納があるためですが、四月と五月の二月にわたる出納整理期間に、未収分の収入に努力がそそがれ、相当の成果を収めたと見られています。

このたしかな結果は、この次の財政事情で、決算報告を行いますが、単年度黒字の見とおしです。

グラフAは歳入予算額と収入状況を、グラフBは、歳出予算額と支出状況を費目（款）別に図示したものです。

グラフAでは、県支出金の未収七一%と、市債の未収八三%がとくにめだち、競輪、競馬事業からの益金である繰入金の未収三八%の解決に期待がよせられます。

グラフBでは、少額ながら国有財産関係費の支出率五四%をのぞき、あとはいずれも七〇～八〇%以上の支出率を示し、計画事業の順調な実施ぶりを見せています。

誠実　信用技術の店　愛靴の店
ヤマト
平塚銀座通り　電1374

財産と借入れ白書

今年三月末日で計算した市有財産は、一〇億にちかい、九九、五〇〇万円で、とのうち

土地は　一九六、一八六坪
価格にして一八、八一五万円
建物は　三三、一〇一坪この価格は　八〇、四七九万円

をかぞえます。このほか証券と現金をあわせて一〇六万円もっています。おなじ三月末での市の負債は二一、五六二万円に達します。これは市債とよぶ借金で、借入先は市中銀行　七、九七〇〇万円
その他　一五五一〇

のうちわけです。

富と廉売
持越オーバー大見切
持越婦人子供紳士オーバー始め
婦人セーター学生服の手持品大処分市
平塚長崎屋
東店（呉服と洋品）西店（服地と洋品）食品部

岐路にたつ三十二年度

赤字なくし新計画へ

空手形予算絶対さける

戸川市政三十二年度施政方針の骨子は、赤字解消の努力をつづけ、健全財政の確立をいそがなわら、新都市建設計画をうちたして、消防力の充実や国保の完全実施をなしとげる一方、失対事業をひらげて公共事業を積極的におしすゝめ、とりとに教育施設の不足問題の解決にあたり、不正常授業、二部授業はなくまでだけ、PTAの負担をなくしたい。さらに公営住宅や、区画整理、道路などは、たしかな財源のみとおしがついたものから、順次実施にうつし空手形予算は絶対くまないといったものです。これに伴う三十二年度予算案は、総額五一、二二四万円、六ケ町村合併後、はじめての年間予算のとして、昨年度当初にくらべ、九、六二七万円も上まわっています。

しかし、この予算のきは、人口一〇万にとどくようになった平塚にとって、決して無理なものではなく、昨年度にひきつづいて、たしかな収入みこみのうえにくみたてた、均衡予算であることはいうまでもありません。

また、地方財政の赤字をなくすために、国をあげて努力している際であり、市でも自主再建二ケ年計画を本年度でなしとげ、健全財政をうちたてなければならない立場におかれている時期であります。財政再建への根本方針はすこしもかわりはありません。

とにかく、合併にともなう新都市建設計画の初年度にあたり、大野地区開発五ケ年計画その他の、合併協定事業に手をつける最初の年でもあって、財政再建計画との板ばさみにあい、ゆるされる範囲の幅大限に背のびをしてくまれた今年度の予算であります。

たしかな財源として見つもられた歳入予算では

① 市税が二八、〇七万円で歳入予算全体の五四%をしめる財源の王者です。とくに今年度は新市域分をふくめ、九、九七〇万円の増収がみこまれました。

② つぎは全体の一五%にあたる譲与税からの繰入金七、六二六万円が大きいところです。

③ 負担金、補助金を中心とする、国庫支出金が、六、三六一万円で全体の二二%、県支出金は七一万円、地方交付税が三、〇七〇万円はいるみこみです。

④ その他財産収入九八万円、使用料と手数料四、二〇〇万円、雑収入七六六万円附金一〇〇万円、雑収入七六六万円がみつもられました。

⑤ 市債（国及び金融機関からの借入れ）は一、一〇〇万円、全体の二%ときまりました。

歳入土地区画整理事業負担費に　三〇〇万円

失業対策事業に　二〇〇〃

消防施設整備に　三〇〇〃

交教施設整備に　四〇〇〃

歳出予算のトップは、

① 教育費の二三、一九五万円で、全体予算の二六%、昨年の二二%にくらべ四%、金額にして三、八〇七万円の増額です。

教育関係の人件費その他　一、四〇四万円

幼稚園の運営に　二〇七〃

小・中・高校に　五、五四五〃

社会教育関係に　五五〇〃

このほか、校舎新築をふくむ計教育施設の整備に、四、五四一万円が投じられています。

② 次は土木費の一〇、二二五万円が前額をしめ、総予算額の二〇%にあたります。昨年度にくらべ四八八万円の減額でした。

これは、国庫や県との関連で、財源がはっきりきまっていないものがあるためです。

道路橋りょう費　一、三三四万円

河川費に　一五七〃

都市計画費に　四、二六五〃

災害土木費　四三〃

失業対策事業に四、三七五〃

この中で、道路新設や下水道、排水路、橋のかけかえ、区劃整理など、建設的なことにつぎこまれる予算は、九、八一三万円で、大部分をしめます。

③ 役所費は一〇、〇〇〇万円で土木費につぎ、全体の一九%にあたり、昨年をとまわること八八七万円です。

こゝでは市役所の職員費が中心で、人件費が　九、四〇六万円

監査委員費、公平委員会費、固定資産評価審査委員会費等に、あわせて、　三五万円

広報費に　一二四〃

戸籍住民登録関係に　五八万円

恩給年金、研修、各種負担金、部落連絡員報酬その他三三万円

管理費　五〇〃

④ 公債費　五、四三七万円

も大きく、全体予算の一〇%をかぞえます。これは起債と一時借入金の元金償還と利子にあてられる費用です。

⑤ 社会及び労働施設費と呼ばれる、社会福祉関係費も、総予算の九%をしめ、四、五九〇万円

福祉事務所関係に　一二九〃

生活保護、児童福祉、身体障害者福祉、戦傷病者援護、母子福祉、母子寡、行路病死人取扱費など費用に　四、〇五〇万円

民生委員関係に　四〇〃

保育所と内職指導の共同作業所の運営費に　二四〇万円

社会福祉に　一〇九〃

住宅、公園などに　五〇〃

⑥ 消防費に二、三三一万円では、一、四〇六万円

消防団関係にこのなかに、消防車、消防庁舎などの新設費、四七六万円がくまれています。

⑦ 産業経済費は、一、八五九万円をこえて、消防費とほぼおなじ総予算の四%がみつられました。

農業、水産等の振興や、土地改良集荷対策・漁港の維持管理、食糧問題工観光の振興に　三一六万円

ことでは積極的な農業振興委託事業のほか、土地改良、漁港整備への投資、七六三万円がめざたります。

⑧ 市債費に一、五七七万円

保健衛生費は七四一万円、このうちわけは

伝染病予防、隔離病舎、ねずみ蚊はえなどの駆除、予防接種、結核予防の経費に　二五四万円

清掃費に　五八〇〃

火葬場に　四〇〃

保健指導、相談に　一四〃

狂犬病予防に　一〇六〃

プール、海水浴場に　一一九〃

財産費は総額で　四〇〇万円

これは市有財産の造成管理につかわれます。

国有財産関係費は　六〇一万円

市内にある国有財産の委託管理や払下げを受けるときの経費です。

統計調査費　五一万円

選挙費　七一万円

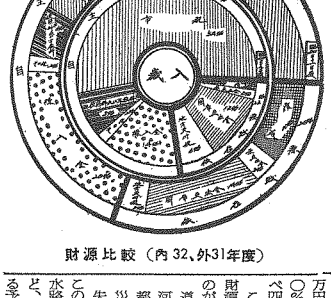
といったところです。

⑨ 最後に、諸支出金一、二六七万円のうちとしを説明しますと市金庫である金融機関への公金取扱い手数料、徴税費、税金の過納払もどし金、補助負担金などに　四六〇万円

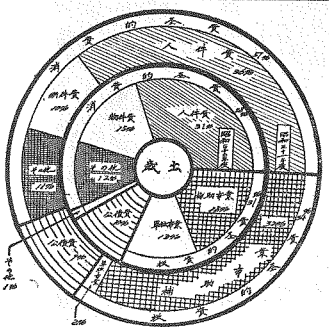
国保特別会計への繰出し金　三七一万円

過年度支出　二一一〃

の内容です。



財源比較（内32、外31年度）



性質別支出比較（内32、外31年度）

特別会計

国保全面実施

競輪開催年六回へ

市政全般にわたるまかない費をもった一般会計に対して、独立採算をとる特別会計があります。

今年度の特別会計予算は、競輪事業に、大きな姿勢がありました。つまり、いままで年八回を開催していましたが、今年から戦災による特別開催年一回がなくなったため、六回しか一年間に催すことができず、したがってやゝ収益がおちることはやむを得ず、一般会計への繰出金はすくなくなるみとおしです。

競輪の事業が山積みする現状では、開催回数がへるということは、残念であるといわざるをえません。

総予算で前年にくらべ、一四%減少し五一、四一六万円、一般会計への繰出金は四一、一九三万円とみつもられました。

これに対し競馬事業は、競輪の収益減少のみこみを補うならいからも、昨年を、一八%もまわる総予算、四〇、三三一万円をくみ、一般会計へ、昨年より四六七万円多い、三、三三三万円の繰出金をだす予定です。

国民健康保険事業は、今年度からの国保全市域実施にともない、拡大しました。

国保全市域実施は、国民皆保険という国の方針にもとるものであり、保健衛生の立場からも、市民の福祉をたかめる上からも、記録されるべきことであります。

この総予算は、昨年の三九七万円の約十四倍にふくみ、五、七八二万円が計上されました。

国保直営診療施設事業費は、今年度、三七〇万円を計上、各直営診療所の運営をはかることになりました。

平均負担額しらべ

市政をまかなう財源の主体をなしており収入予算全体の五四%、金額にして二億八千万をこえます。

この市税の今年度負担額は、市民一人あたり　二、八九一円

一世帯あたり　一三、八一一円

平均となります。

この平均額を昨年度にくらべますと、

市民一人あたり　四七七円

一世帯あたり　二、二七九円

の増額を示しています。

旅　無料案内
観光バス
旅行プラン
旅館予約
団体旅行
の御用命は

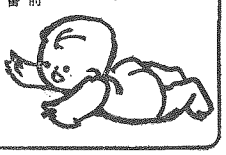
サービスと信用の
神中サービスステーションへ
平塚駅東海道
ガソリンスタンドと並び
電話　平塚2355—6

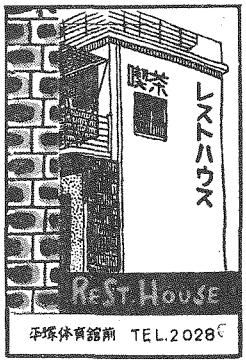
特選高級紳士服
豊富な商品正札の店
まつや洋服店
平塚市新仲通り　TEL961

広告マッチ……は
あなたのお店の—
あなたの会社の—
無言のセールスマンです
宣伝配布品なら何んでも間に合ふ
片岡
平塚市本宿大通
TEL 平塚188

靴・カバン
信用と勉強
片山
TEL. 540

衛生と美容の相談は
稲元薬局へ
国道本宿交番前
電話一八三〇番





良品廉価　買い良い店
洋品なら
トキワヤ
平塚市銀座・電203・1849番